

スロベニア海外安全対策情報 (2024年4～6月)

1 治安情勢

(1) 一般情勢

治安情勢は比較的安定していますが、コロナ禍以降、国内での犯罪認知件数は増加傾向にあります。

特に、多くの人が集まる場所（観光地、イベント会場等）で、置引きやスリ被害が多く発生しています。貴重品からは目を離さないなど、十分注意してください。

(2) その他の情勢

今年1～5月の不法移民検挙数は1万7,439人で、前年から微増傾向にあります。なお、検挙された不法移民の大半は、直ちに他の希望国へ向け、スロベニアを出国しているとのことです。

2 邦人被害発生状況

- * 4月14日午後8時頃、リュブリャナ中心部にあるレストランのテラス席に数名で座り食事中、足下付近に置いていた旅券等貴重品在中のバッグを盗まれた。

3 その他特異な犯罪事件の発生状況

(1) 殺人・傷害事件

- * 4月5日、マリボルで、3月末から行方不明となっていた女性が刺殺死体で発見された。殺人犯として、女性の夫とその知人が逮捕された。
- * 5月3日、リュブリャナのバス車内で、モロッコ人の男が女子学生2人に暴行を加え、負傷させた。
- * 5月27日、コペルで、2人の男の口論が喧嘩に発展し、止めに入ろうとした数名が殴られるなどして負傷した。男の1人は刃物を手にしていた。
- * 6月10日、コペルで、マケドニア人の集団乱闘があり、女性1人が刃物で刺され重傷を負い、そのほか3人が殴られるなどして軽傷を負った。
- * 6月7日、クランで、資産家の男性が行方不明になった。その後、男性は死体で発見され、殺人犯として同人の知人2人が逮捕された。
- * 6月22日、コチェウイエで、39歳の女がパートナーの男性を刺殺し、逮捕された。
- * 6月25日夕方、ノヴォ・メストの列車内で、46歳の男と少年が口論になり、少年がナイフで刺されて軽傷を負った。

(2) 強盗事件

- * 4月29日夜、ノヴォ・メストの駅で、少年3人が別の少年を脅して現金を奪った。
- * 5月7日夜、マリボルで、ガソリンスタンドに武装した男が押し入り、事務所から現金を奪った。

- * 5月8日、ノヴォ・メストで、2人組の若い男が通りがかりの2人を脅迫してけがを負わせ、ATMから現金を引き出させて奪った。
- * 5月13日夕方、リュブリャナのチボリ公園内で、少年が他の少年2人に暴行を加え、金品を奪った。
- * 5月23日以降、リュブリャナやノヴォ・メストで、ATMを爆破して現金を奪う事件が連続発生した。6月19日、警察は犯人としてクロアチア人3人を逮捕した。
- * 5月28日未明、リュブリャナ市街で、何者かが歩行者を地面に押し倒し、リュックサックから財布を奪った。
- * 5月30日、マリボルで、男が通行人を殴ってリュックサックを奪った。また同日、リュブリャナ市街で、男が店舗に押し入って商品を盗み、警備員に暴行を加えて逃走した。
- * 6月28日、リュブリャナ市街で、ガンビア人の男が通行人に絡んで殴り、現金を奪った。

(3) 銃器使用事件

- * 4月8日、クランの森林で、男性の銃殺死体が発見された。警察は殺人事件とみて捜査している。
- * 4月28日夕方、マリボルで、3人の男の口論が喧嘩に発展し、うち1人が持っていた銃を発砲した。1人がその場で死亡し、1人が負傷した。
- * 5月15日午後、コペル近郊の村で、男が銃を乱射して逃走し自宅に立てこもった。警察の包囲によって男は投降し、負傷者は出なかった。

(4) 窃盗事件

- * 4月15日、リュブリャナ市街のATMに細工して現金を盗んだとして、45歳のルーマニア人が逮捕された。同人と共犯者は、同じ犯罪を少なくとも18件はたらいていた。
- * 5月17日、リュブリャナの高齢者宅を訪問した男が、電気通信サービスの話で住人の注意をそらし、現金を盗んだ。この後にも、車のガソリンが切れたと言って訪問してきた例など、類似の窃盗被害が多数発生しており、警察は注意を呼び掛けている。
- * 5月下旬、リュブリャナ市街の店舗等にたびたび侵入して多数の金品を盗んだとして、スロベニア在住のボスニア・ヘルツェゴビナ人が逮捕された。
- * 6月中旬、リュブリャナで窃盗を繰り返していた37歳の男が逮捕された。同人は少なくとも2つのアパートに侵入し、多額の金品を盗んだ疑いがある。

(5) 詐欺事件

- * 5月16日、ノヴァ・ゴリツァで、不正に窃取されたクレジットカード情報に基づいて808ユーロのオンライン航空券が不正に購入される被害が判明した。
- * 6月、観光シーズンにさしかかる中、オンライン宿泊予約詐欺が増加しているとの報告がなされた。施設管理者のプロバイダに不正アクセスして顧客情報を窃取したり、ユーザーを偽の広告サイトに誘導して口座情

報を入力させたりといった詐欺が横行しているという。好条件にもかかわらず極端に価格が安いなど、不自然な宿泊プランが提示されるサイトは詐欺である可能性が高いことから、専門家は注意を喚起している。

(6) その他の特異事件・事故

- * 6月1日、リュブリャナ市街で、モロッコ人数名がアルジェリア人コミュニティのクラブを襲撃し、建物に投石するなどした。
- * 6月15日、リュブリャナ中心部において、毎年恒例のプライドパレードが開催された。昨年はパレードに対する暴力事案が発生したことから、今年は警察の警備が強化された。結果として、一部でパレード参加者が唐辛子スプレーを吹きかけられたり、水、卵を投げつけられたりする事案が発生したものの、総じて昨年ほど暴力的な事件が発生することはなかった。
- * 山の事故が急増し、6月中に実施されたヘリコプター救助は33件にのぼった。装備不十分な外国人旅行者の救助事案も多いことから、警察は改めて注意を促すとともに、適切な情報収集と装備の重要性を強調した。

4 テロ・過激主義事件発生状況

特段のテロ・過激主義事件は認知していません。

5 日本企業の安全に係る諸問題

特段の問題は認知していません。

(了)